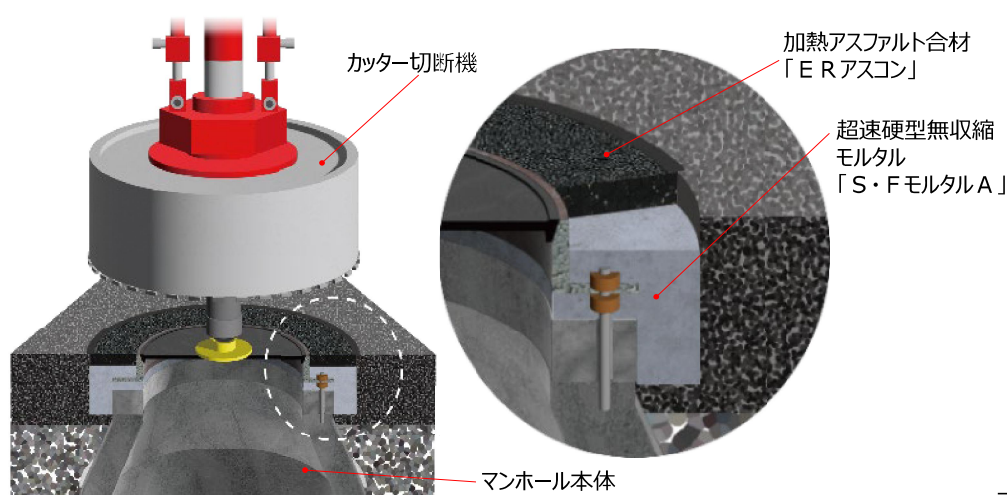




特別賞



専用車載型小型アスファルトミキサー

情報通信 関係施設分野

マンホール鉄蓋取替工事の効率化と耐久性を追求した「セーフティーフラット工法」

取組概要

セーフティーフラット工法は、マンホール鉄蓋の老朽化や、通行車両等により損傷が生じたときの鉄蓋取替工法である。

既設舗装の切断にあたっては、円形カッター切断機をもちいて最小限の範囲で切断する。復旧材料には、流動性に優れ、短時間に実用強度が得られる無収縮モルタル（S・FモルタルA）を路盤部に、表層には既設舗装と同様のアスファルト系舗装復旧材（ERアスコン）を現地で製造して使用する。

受賞理由

マンホール鉄蓋取替工事において、短時間施工かつ長期にわたって良好な状態を保つための工法を開発した点、そのために必要な機材の開発を併せて行なっている点に新規性・有効性があることが評価された。

取組のポイント

円形カッター切断機をもちいて最小限の範囲で切断するとともに、復旧舗装の沈下抑制に寄与する超速硬型の無収縮モルタルS・FモルタルAと現地で加熱アスファルト合材を製造できるERミキサーを開発し、アスファルト系舗装復旧材ERアスコンを現場練りすることにより短時間での交通開放を可能とした。また、ERアスコンを現場練りすることで舗装の温度管理が適切に行える等、既存の課題に対応した工法である。さらに、カッター刃を付け替えることで、あらゆる大きさの鉄蓋（下水道、電力、通信等）に対応可能な汎用性も持ち合わせる。

受賞者について



受賞者

株式会社シー・エス・ケエ
工藤 守/井田 広成/大野 基裕/森 範行/池宮 弘

コメント

この度は、特別賞という名誉ある賞を賜り、大変光栄に思います。

マンホール鉄蓋は、国民の税金により維持されている道路上に存在しております。鉄蓋の交換には周辺舗装を切断する必要があることから、舗装復旧時に元の舗装以上の品質で仕上げることで、そして周辺住民や道路利用者の皆さまに極力ご迷惑をおかけしないように短時間で施工完了すること、これらの想いを込めて少しずつ改良を重ねて参りました。

今後も弛まぬ研鑽で技術開発を続け、より良い施工を世の中に届けて参る所存でございます。

団体概要

私たちは、セーフティーフラット工法協会設立以来、マンホール鉄蓋取替工法の独自技術力に磨きをかけ、長期に渡り道路保全に貢献できる唯一無二の専門施工会社として事業を展開してきました。協会員の仲間とともに全国への工法普及を進めるとともに、お客様のご期待にお応えするべく、技術開発を続けています。

問い合わせ先

株式会社シー・エス・ケエ
〒460-0018 愛知県名古屋市中区門前町1-51
TEL：052-332-8061 e-mail：info@csk-sf.jp